

## 4. 将来像の実現に向けた基本方針

### 4.1 将来像の実現に向けた3つの基本方針と分野別方針

空港臨海部の将来像の実現に向けて、以下のとおり、3つの基本方針と基本方針ごとに分野別方針を設定しました。

#### 基本方針①:高度な産業の集積拠点

空港臨海部の技術者と国内外の技術者が交流し、それぞれの技術力やアイデアを協調・競争を通じて新たな価値を創出する高度な産業の一大集積拠点を形成します。

■産業
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 製造業をはじめ、特有の高い技術力を活かす企業の成長促進。最先端技術を活かし、新たな挑戦を試みる企業誘致・育成</li><li>・ 内陸部・都心や海外との連携、大手企業やベンチャー企業などとの交流・協業・挑戦を促進し、継続性の高いものづくり・研究開発の場を目指す。</li><li>・ 国内外の技術者を惹きつける多様な働き方の実現</li></ul>
■土地利用
<ul style="list-style-type: none"><li>・ ものづくりを主体とした土地利用の促進</li><li>・ 研究開発、試作製造、実証実験などの機能を促進する土地利用誘導</li></ul>



図 4-1 将来像の実現に向けた基本方針①

## 基本方針②: 人の活動と自然の調和

空港臨海部の希少な公園や緑地、水辺空間を活かし、働く人や来街者に憩いとインスピレーションをもたらす、産業・観光レジャー・自然が調和したまちを実現します。

<p>■自然環境・レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都心における希少な公園・緑地・水辺、道路空間などのオープンスペースを活かし、区民・働く人には憩いの場として、来街者には多様なアクティビティを体験できる賑わいのある空間を創出</li> <li>・ 次世代エネルギー<sup>19</sup>の活用やエネルギーのスマート化<sup>20</sup>による脱炭素化<sup>21</sup>の推進</li> </ul>
<p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「食」や「産業資源」などの観光コンテンツの創出・活用</li> <li>・ 舟運などによる新たな観光ルートの形成と羽田空港利用者の取込み</li> </ul>

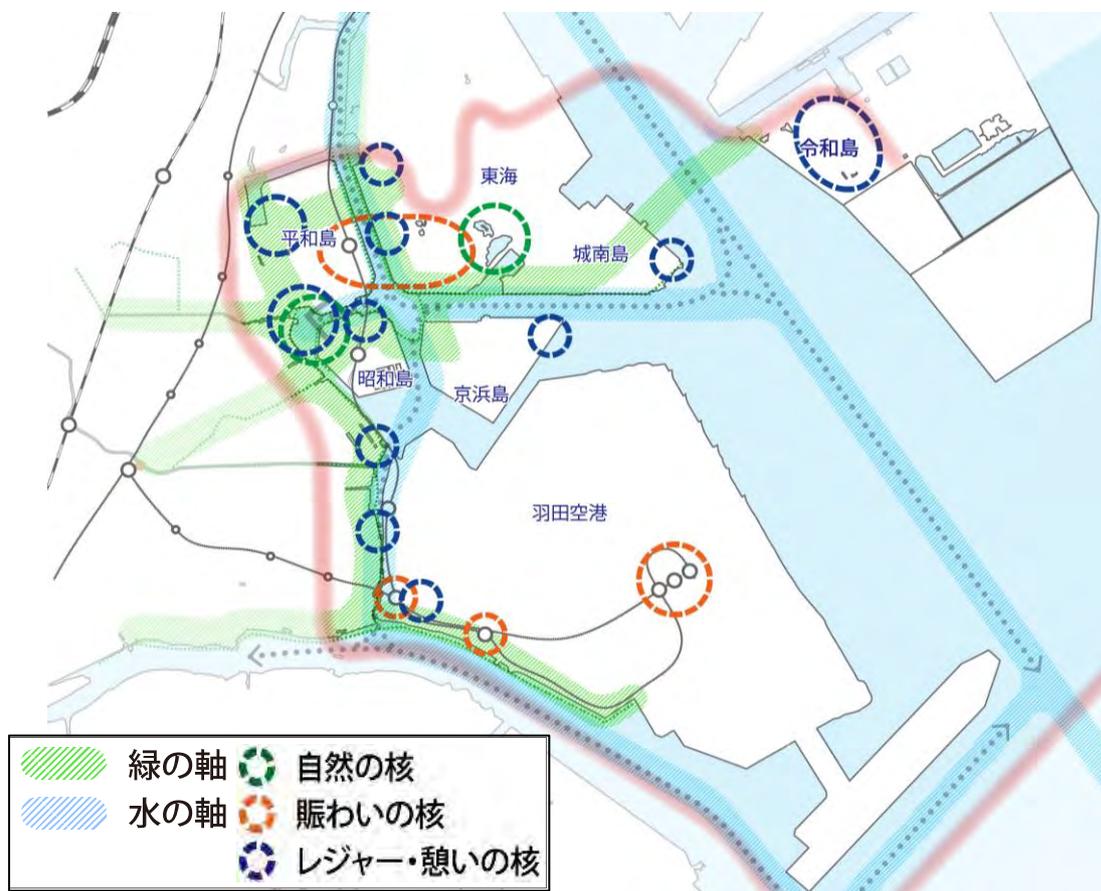


図 4-2 将来像の実現に向けた基本方針②

<sup>19</sup> 地球環境に対して負荷の少ない自然界のエネルギーである、太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった再生可能エネルギーや水素といった新エネルギー。

<sup>20</sup> 太陽光や風力など再生可能エネルギーを最大限活用し、家庭やビル、交通システムを IT ネットワークでつなげ、地域でエネルギーを有効活用する次世代の社会システム。

<sup>21</sup> 低炭素化とは、主要な温室効果ガスである CO<sub>2</sub> 排出量を 1990 年に比べて 70%削減すること。脱炭素化とは、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることであり、2050 年の実現が目標。

### 基本方針③:次世代のインフラ整備

陸・海・空における先端技術を活用した、次世代の交通・物流・通信インフラ及び交流のソフトインフラが整備されるとともに、災害時における復旧・復興の拠点となります。

<p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空港臨海部と近隣道路ネットワークの再構築・強化</li> <li>・ 最新技術(自動運転など)を活用した公共交通サービスレベル、配送サービスの向上</li> </ul>
<p>■防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模災害時に備える復旧・復興拠点の形成</li> <li>・ エネルギー自給率の向上と大規模災害・感染症発生時のBCP強化を兼ねる柔軟性・冗長性を備えたまちの形成</li> </ul>
<p>■ソフトインフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流・協業を円滑化するビジネスコミュニティの構築</li> <li>・ 新技術の社会実装を加速する法整備・規制緩和</li> </ul>

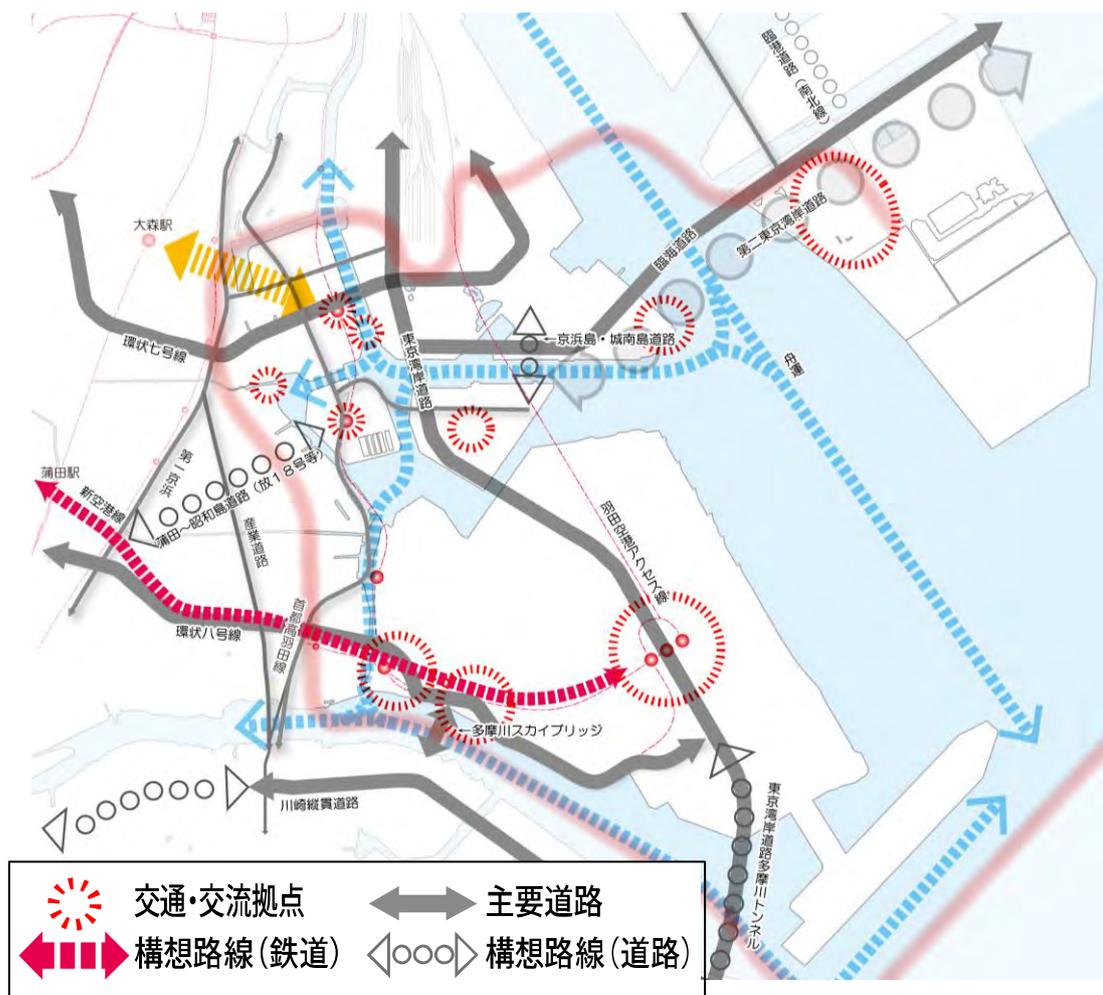


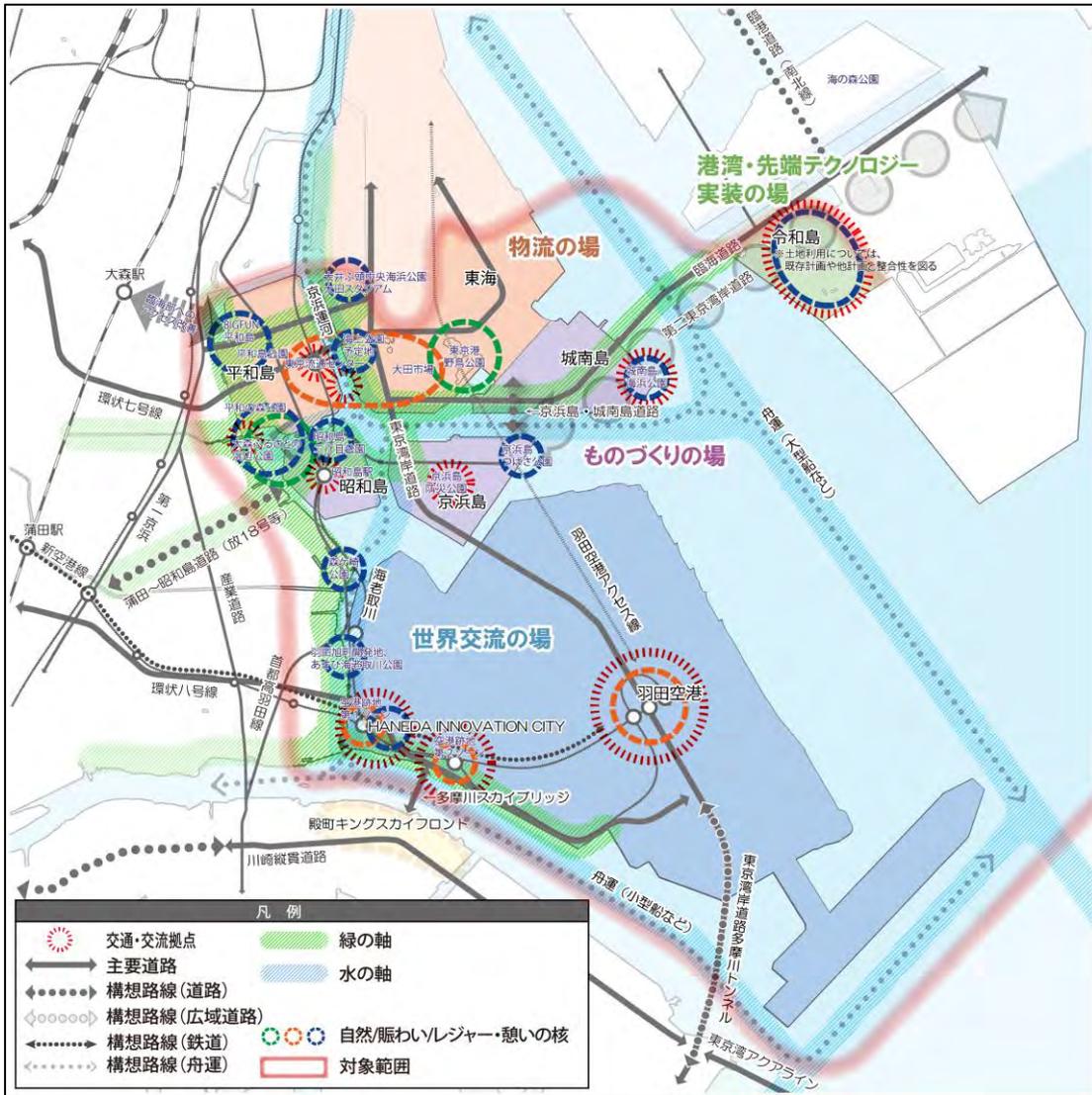
図 4-3 将来像の実現に向けた基本方針③

## 4.2 将来都市方針図

空港臨海部の将来像の実現に向けた3つの基本方針を、将来都市方針図として整理しました。

土地利用としては、羽田空港は「世界交流の場」、昭和島、京浜島及び城南島は「ものづくりの場」、平和島及び東海は「物流の場」、令和島は「港湾・先端テクノロジー実装の場」として位置付けています。

また、空港臨海部にある既存資源を含め、「自然の核」、「賑わいの核」、「レジャー・憩いの核」、「交流・交通拠点」を位置付けています。



- 自然の核**：東京都心部近傍にありながら、貴重な自然環境に身近に触れることができる公園を自然の拠点として位置付ける。
- 賑わいの核**：働く人、訪れる人、区民にとって楽しく過ごせる魅力ある新しい賑わいの拠点として位置付ける。
- レジャー・憩いの核**：スポーツ施設や、水辺近接の公園、働く人や訪れる人が休憩する場をレジャー・憩いの拠点として位置付ける。
- 交通・交流拠点**：内陸部～埋立島部や島部間の移動円滑化並びに人々の交流の拠点として、
  - ・ 主要な交通結節点や公園などの公共施設
  - ・ 民地であってすでに将来的に交通結節点としての立地ポテンシャルのある場所
 を対象に、交通・交流拠点として位置付ける。
- 「緑の軸」** 内陸部～臨海部を連続的な緑でつなぐ軸…内陸河川（内川）や呑川緑道、海辺の散策路など
- 「水の軸」** 内陸と埋立島部、埋立島部間水面を連結する軸。（舟運ルートと一致）…海老取川、京浜運河など

図 4-4 将来都市方針図

### 4.3 3つの基本方針の狙いと相乗効果

3つの基本方針は次世代のインフラ整備を出発点として、相互に相乗効果を発揮する関係にあります。具体的には、次世代のインフラ整備では、東西軸強化、南北軸強化、周遊軸強化を進め、内陸部から空港臨海部へ、また南北の広域交通の利便性向上を図ります。これにより、区民の空港臨海部へのアクセスが容易となり、産業面では空港臨海部の産業競争力を押し上げる効果を期待することができます。

それぞれの基本方針の相乗効果により、「区民に親しまれる空港臨海部」、「高い雇用獲得力を誇る空港臨海部」となっていくことが期待されます。



図 4-5 3つの基本方針の狙いと相乗効果

## 4.4 2040年みらいスケッチ

将来像が実現した2040年の区民にとって身近な存在となった空港臨海部のイメージを、様々な属性を持つ区民の目線で「みらいスケッチ」として整理しました。

次のように、2040年の空港臨海部は多様な区民が活躍する場となっています。

<p><b>20代 学生</b></p> <p><b>就職先は、伝統と革新が共存する臨海部企業</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>元々は文系だったけど、高校3年で体験した区主催のオープンファクトリーが私の人生を決定づけました。大学はものづくり系に進みました。</li> <li>大学では、今いるゼミ仲間と一緒に、お試しベンチャーを立ち上げました。企業の方や行政の支援により、高度な技術を活用しながら、いろんなプロトタイプを素早く作ることができました。</li> <li>就職先は臨海部に最近できた遺伝子医療のベンチャー。匠の技が生きるものづくり企業をコアにして、研究開発やベンチャー企業も続々進出してきて、伝統と革新が息づく、協働のものづくり島になっています。</li> <li>入社後は、毎日のランチは公園で。いろんな種類のキッチンカーが来るので、楽しみです。</li> </ul>	<p><b>50代 会社経営者</b></p> <p><b>お隣さんと気軽に協業できる環境がある</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>祖父の代から続く、金属加工業の3代目です。従業員は総勢20名と小規模。でも実はねじ加工の分野では、世界中からひっきりなしにオファーが。脈々と受け継がれる熟練工の技があってこそ。</li> <li>ここ数年で島まるごとDXが進展する中、伝統的な「職人の技」継承のためのナレッジマネジメントが構築されています。また島の真ん中にあるセンターでは、各企業が持つ技術にアクセスできるシステムや、お隣さんとのプロトタイピング環境が充実しています。</li> <li>最近では、島に進出してきたベンチャー企業と協業し、複数の製品開発も進めています。これまでのメーカー下請けが多かったのですが、今はマーケットニーズに応えるべく、日々奮闘しています。</li> <li>ここで培った技術力・ネットワークを生かして、ここ空港臨海部から世界一のものづくり企業のトップランナーを目指していきます！</li> </ul>
<p><b>30代 自営業</b></p> <p><b>ふる浜ハッピービーチウェディング</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>結婚を考えている人と一緒に区内商店街で飲食店を経営しています。週末は、臨海部の公園内にキッチンカーを出しています。</li> <li>大森ふるさとの浜辺公園は、広々とした空・砂浜・水辺を、身近に体感できます。昭和島の工場を美しく彩る朝焼けの中、大好きな人と早朝デートを楽しんだ思い出の場所です。</li> <li>夜は、ナイトフィッシングが楽しみです。また、お酒落に改装されたレストハウスにできたお酒落なバーでお酒を楽しめます。</li> <li>そんな2人の思い出の大森ふるさとの浜辺公園で、互いに人生で一番輝く姿を見たい。憧れだったビーチウェディングを挙げました！</li> </ul>	<p><b>40代 ファミリー</b></p> <p><b>週末ナンバーワン・レジャースポット・臨海部</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>週末は家族と一緒に臨海部に行きます。道路も安全で、コミュニティサイクルで20分ほど汗をかければ、大森ふるさとの浜辺公園にたどり着きます。</li> <li>スポーツ施設で都内では貴重なビーチバレーが楽しめます。</li> <li>船にのって京浜運河まで。船上レストランでランチを済ませたあとは、大田市場場外市場へ。フラワーアレンジメント教室やせり体験ができ、家族も大喜びです。</li> <li>今では商業施設でショッピングするより、自然のなかでおもいきり体を動かす、コトやトキを過ごすのが何よりの価値です。</li> </ul>
<p><b>10代 留学生</b></p> <p><b>パラスポーツの聖地</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>私は海外出身で、2年前に日本にパラアスリートの留学生としてやってきました。子供の頃交通事故にあって以来、車椅子生活を送っています。</li> <li>2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に日本のスポーツ環境整備が進んだことで、空港臨海部でも多様なスポーツ・アクティビティを体験できる施設が充実しています。</li> <li>空港臨海部へのアクセスは、完全バリアフリーです。大森駅から低床バスに乗って、平和島の交通・交流拠点にアクセスします。歩道に面する部分は余裕をもって空間をとって、フラットにアクセスすることができます。案内サイン・マップも、AIカメラで検知し出身国籍を割り出すことにより、マルチリンガル対応で快適にあらゆる場所に移動できます。</li> </ul>	<p><b>80代 熟練工</b></p> <p><b>100年時代の人生が輝く場所</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>20年前、定年退職を前に、ライフシフトを決意。臨海部の工場で働き始めました。自分の能力を十分に生かすことができるこの臨海部で、今も元気に働いています。</li> <li>大森から接続バスで移動して、さらにパーソナルモビリティに乗り換え。自動運転やMaaSのサービスを利用して、渋滞も混雑もなく、スムーズにアクセスできます。また、自宅から職場までパーソナルモビリティだけでシームレスに移動することもできるため、将来的にも移動の不安がありません。</li> <li>週末はひ孫を連れて、大森ふるさとの浜辺公園バナナボートに乗って海を楽しみます！</li> </ul>

図 4-6 2040年みらいスケッチ

## 5. プロジェクト

### 5.1 プロジェクトの考え方

3つの基本方針ごとにプロジェクトテーマを設定し、これに対応する具体的なプロジェクトを実施していきます。

このプロジェクトのうち、次の視点から他のプロジェクトを牽引していく重点プロジェクトを位置付け、重点的に取り組んでいきます。

#### 【重点プロジェクト選定の視点】

- ①事業効果が大きいこと
- ②他のプロジェクトとの関係性が多いこと
- ③基本方針を跨って影響を及ぼす事業であること

また、プロジェクト間の関係性やプロジェクトの実施時期や効果が発現する時期を示したロードマップを作成し、以下の考え方に基づき整理しました。

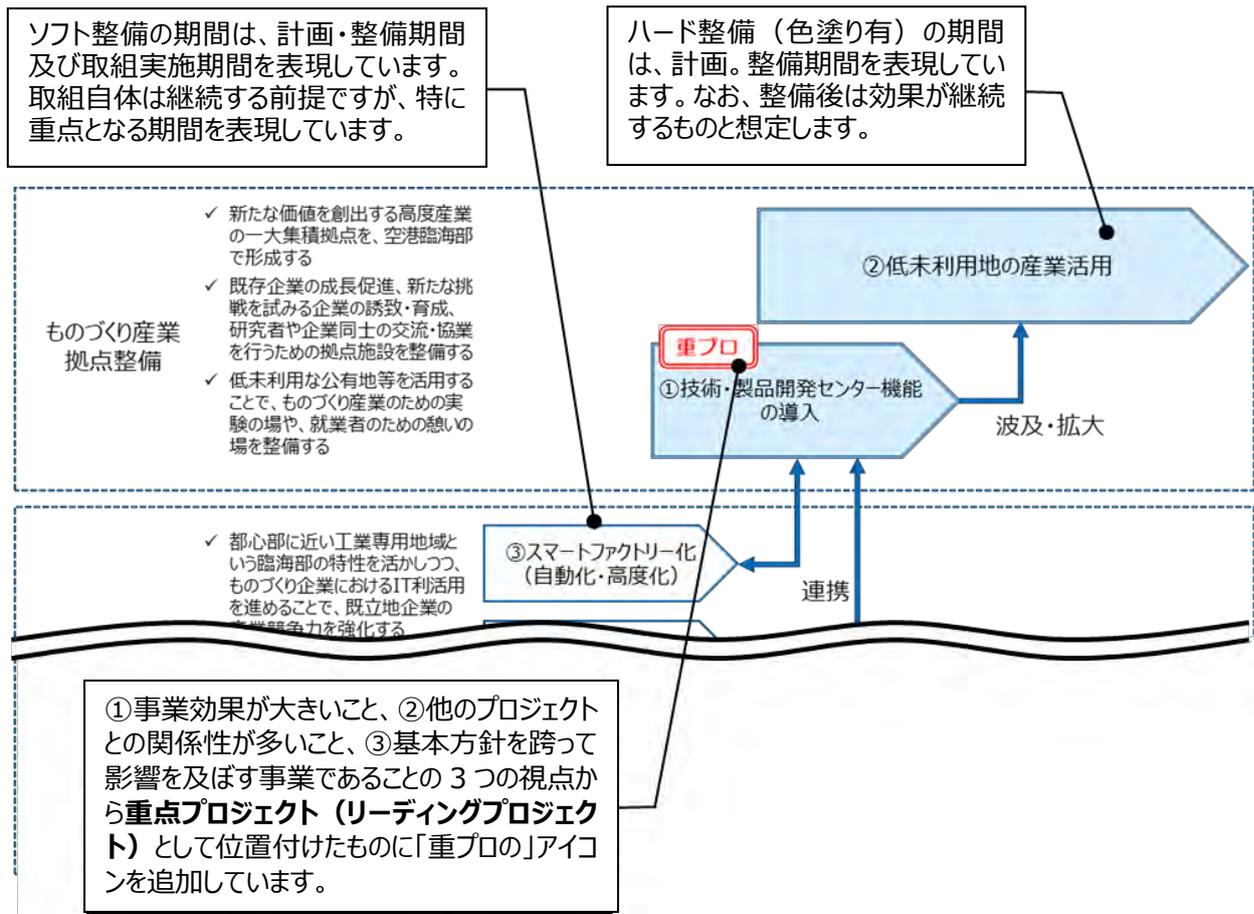


図 5-1 重点プロジェクト及びロードマップの考え方

## 5.2 プロジェクトの内容

基本方針①：高度な産業の集積拠点、基本方針②：人の活動と自然の調和、基本方針③：次世代のインフラ整備の3つの基本方針ごとに、4つのプロジェクトテーマを設定し、全部で34のプロジェクトとしてまとめました。

基本方針	プロジェクトテーマ	プロジェクト		
高度な産業の集積拠点 基本方針①	【1】ものづくり産業拠点整備	①	技術・製品開発センター機能の導入	重プロ
		②	低未利用地の産業活用	
	【2】産業競争力強化	③	スマートファクトリー化（自動化・高度化）	
		④	技術活用・事業継承支援	
	【3】働く場の魅力化	⑤	「子育て」環境の整備	
		⑥	「憩い」「食」の場づくり	
		⑦	次世代の就業環境の整備	
		⑧	就業者同士の交流環境の整備	
	【4】港湾・先端テクノロジーの実装	⑨	次世代の港湾・物流機能の導入	
		⑩	先端テクノロジーの実装	重プロ
		⑪	強靱な港の整備・憩いの空間の創出	
人の活動と自然の調和 基本方針②	【5】海と緑のレジャー環境整備	⑫	既存公園・緑地の魅力創出	
		⑬	「賑わい」創出のための施設整備・機能強化	重プロ
		⑭	水辺と水域の賑わい創出	
	【6】観光コンテンツの創出・活用	⑮	工場・倉庫等の多面的活用	
		⑯	既存観光コンテンツ活用による賑わい創出	
	【7】自然環境共生	⑰	見て・触れて楽しめる周遊ルートの整備	
		⑱	生物多様性に関する普及啓発	
		⑲	希少な自然環境の保護・再生	
	【8】脱炭素化の推進	⑳	水と緑のネットワークの形成	重プロ
		㉑	脱炭素化の推進	
㉒		次世代エネルギーインフラの整備支援		
㉓		循環型社会の実現に資する技術開発の支援		
次世代のインフラ整備 基本方針③	【9】交通ネットワークの強化	㉔	「東西軸」の強化・形成	重プロ
		㉕	「周遊軸」の強化・形成	
		㉖	「南北軸」の強化・形成	
		㉗	羽田空港へのアクセス強化・形成	
	【10】拠点機能強化	㉘	防災拠点機能の強化	
		㉙	交通結節点の整備	
		㉚	モノレール等の駅周辺整備	
	【11】新・交通システムの実現	㉛	次世代モビリティの導入、通信インフラ等の整備	重プロ
		㉜	新・交通システムに対応する道路空間の整備	
	【12】交通手段の多様化・周遊性向上	㉝	移動を快適にするソフトインフラの整備	
		㉞	水上交通システムの構築	

図 5-2 プロジェクトテーマの一覧

## 基本方針①:高度な産業の集積拠点

### プロジェクトテーマ: ものづくり産業拠点整備

基本方針①

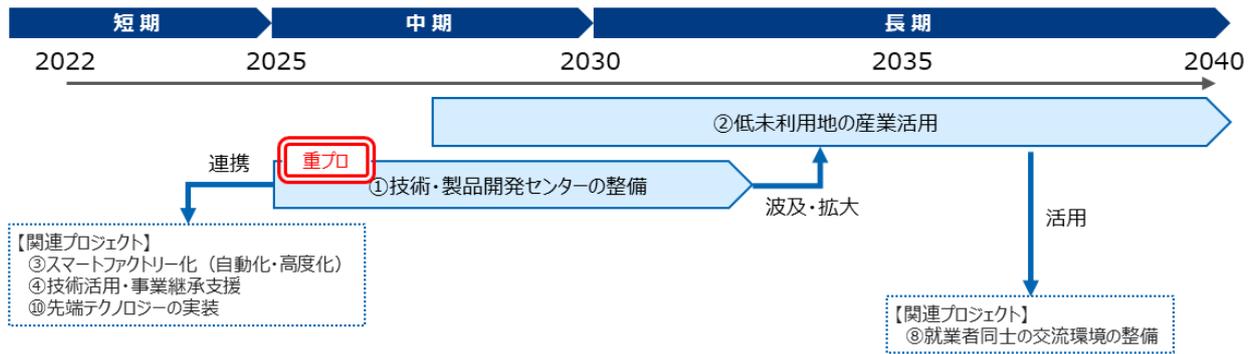
#### 【概要及び実施目的】

- ものづくり分野を中心に新たな価値を創出する産業の一大集積拠点を、空港臨海部に形成する。
- 既存企業の成長促進、新たな挑戦を試みる企業の誘致・育成、研究者や企業同士の交流・協業を行うための拠点施設を整備する。
- 低未利用な公有地などを活用し、ものづくり産業のための実験の場や、就業者のための憩いの場を整備する。

#### プロジェクト名称及び内容

<p>①</p>	<p><b>技術・製品開発センター機能の導入</b> <span style="float: right; border: 1px solid red; padding: 2px;">重プロ</span></p> <p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京都及び民間事業者などと連携し、新製品開発・市場創出を目指す研究開発型企業ラボ、業務発注者と島内企業（特に高度な技術工程）とのマッチング機能を持つ受注センター、事業継承仲介、交流機能を施設整備などに合わせて導入する。</li> <li>● 具体的には、市場ニーズを把握する製品開発型企業の誘致を図り、高い技術力を持つ島内企業と協業する新製品開発の拠点とする。島内企業は、顧客の仕様に応じた少量多品種生産のみならず、新たな製品を市場に展開することで、顧客の獲得を実現する。</li> <li>● 施設は島内企業とベンチャー企業、大学などと協業するワークスペースや、プロトタイプを共同制作するラボなどを配置する。</li> </ul> <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和島、京浜島、城南島など</li> </ul>
	<p><b>拠点施設のイメージ</b></p>
<p>②</p>	<p><b>低未利用地の産業活用</b></p> <p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 低未利用な公有地を、研究開発型のものづくり産業の立地促進を図る場として有効に活用する。</li> <li>● 技術・製品開発センター機能の導入により、島内では研究開発型企業やベンチャー企業の立地や協業が進んでいることが期待され、これらの進出・拡張先として、公有地を活用する。</li> <li>● あわせて、就業者のための憩いの場や交流の場としても整備・活用し、企業間の連携が進むような場とすることで、更なる協業を促進する。</li> </ul> <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和島、京浜島、城南島など</li> </ul> <p><b>産業活用のイメージ</b></p> <p>出典) 大田区産業支援施設等(工場アパート) ウェブサイト,  <a href="https://www.city.ota.tokyo.jp/sangyo/kogyo/sangyou_sien_shisetsu/index.html">https://www.city.ota.tokyo.jp/sangyo/kogyo/sangyou_sien_shisetsu/index.html</a>,          2021年5月19日取得</p>

## プロジェクトロードマップ

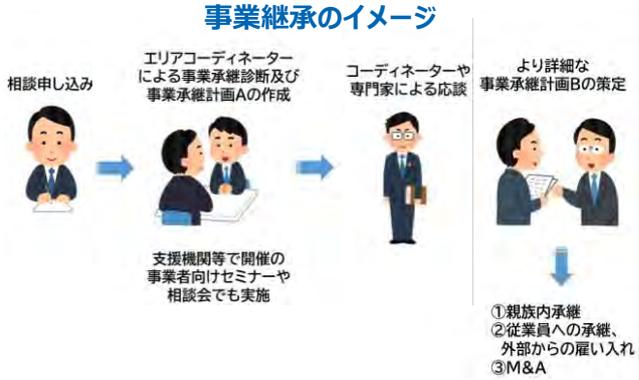


関連部署	産業経済部
------	-------

【概要及び実施目的】

- 都心部に近い工業専用地域という空港臨海部の特性を活かしつつ、ものづくり企業における IT 利活用を進めることで、既存企業の産業競争力を強化する。
- 事業継承を含め新しい人・企業の立地を促すことで、高度な技術力の維持、産業全体の活性化といったものづくり産業が有する課題の解決を図る。

プロジェクト名称及び内容

③	<p><b>スマートファクトリー化（自動化・高度化）</b></p> <p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術力の高いものづくり企業の生産性向上や受注促進を実現するため、ICT、IoT、3D プリンターなどを活用したスマートファクトリー化を目指す。</li> <li>● 具体的には、ICT、IoT を活用した生産管理システムの開発による工程改善やこれと連動した 3D プリンターによる試作品開発、見積作業の省力化、設備の稼働状況の可視化によるトラブル発生監視の効率化などを推進する。</li> <li>● IoT 活用を促進する公的施策の導入（実際の導入例あり）も図り、官民一体で島部のスマート化に取り組む。</li> </ul> <p><b>稼働状況監視画面のイメージ</b></p>  <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和島、京浜島、城南島など</li> </ul> <p><small>出典）経済産業省「中小ものづくり企業 IoT 等活用事例集」, https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/iot_robot/data/iot_katsuyo_jireishu_shosai.pdf, 2021 年 5 月 20 日取得</small></p>
④	<p><b>技術活用・事業継承支援</b></p> <p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 島内に立地する企業における研修・研究・事業創出の希望者を募り、互いの知見を持ち寄る場を構築することで新規技術や事業の創出機会を生み出す。</li> <li>● 立地企業が後継者不足などを理由に廃業する場合、事業継承を支援する仕組みを設立する。</li> <li>● 具体的には、財政投融资やファンド出資、起業家育成などによる新規事業の創出や創業支援とともに、事業引継ぎなどに関する情報提供・助言や企業同士のマッチング支援といった事業継承を一体の施設で実施する。</li> </ul> <p><b>事業継承のイメージ</b></p>  <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和島、京浜島、城南島など</li> </ul> <p><small>出典）公益財団法人大阪産業局 Web サイト「事業承継サポート」事業概要, https://www.obda.or.jp/jigyo/syoukei.html , 2021 年 8 月 6 日閲覧</small></p>

プロジェクトロードマップ



関連部署 産業経済部

【概要及び実施目的】

- 空港臨海部の就業環境としての魅力を高め、立地企業の雇用の維持や拡大を支援する。
- 新たな挑戦を試みる技術者や研究者の誘致の観点から、多様なニーズに対応する就業環境の実現や、就業者同士の交流の場を整備する。
- ものづくり産業拠点整備と連携し、企業と就業者の両方の視点から空港臨海部の産業拠点としての国際的な評価を向上させる。

プロジェクト名称及び内容

<p>⑤</p>	<p><b>「子育て」環境の整備</b></p>
	<p><b>取組内容</b> <span style="float: right;">保育施設のイメージ</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雇用確保・拡大の観点から、多様な人材が空港臨海部で安心して就業できるように、保育施設を設置するなど、子育て層にも働きやすい環境を整備する。</li> </ul> <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和島、京浜島、城南島など</li> </ul> 
<p>⑥</p>	<p><b>「憩い」「食」の場づくり</b></p>
	<p><b>取組内容</b> <span style="float: right;">憩い・食の場のイメージ</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港臨海部の「憩い」「食」の場として、港湾緑地、公園などへのキッチンカーや飲食店を誘致する。</li> </ul> <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港臨海部全域</li> </ul> 

## 次世代の就業環境の整備

### 取組内容

- 自分に合った働き方を選択できるワーキングスペース（屋外含む）や通信インフラの充実など、多様な働き方に対応する就業者にとって魅力的な環境を整備する。
- バス到着時刻の共有や施設予約サービス、自動走行ロボットによる宅配など、新たな技術導入によるスマート化を進め、就業者の利便性の向上を図る。

⑦

### 想定される地域

- 空港臨海部全域

### 屋外ワーキングスペースのイメージ



## 就業者同士の交流環境の整備

### 取組内容

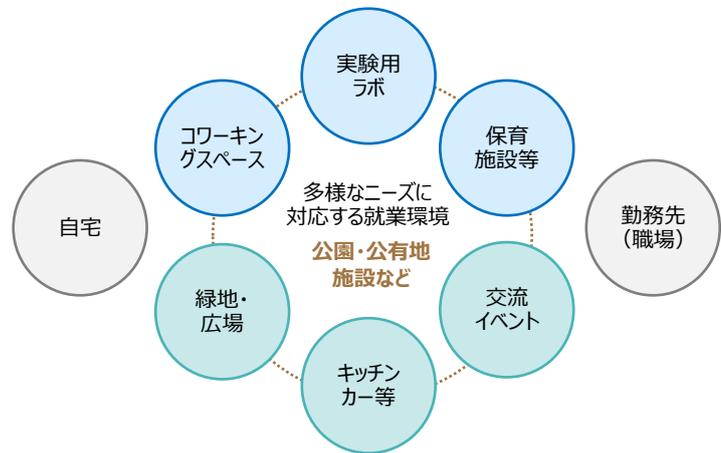
- 空港臨海部で働く人同士や大手企業、ベンチャー企業などの企業間を越えた積極的な交流を促すための拠点やコミュニティなどのソフトインフラを整備する。

⑧

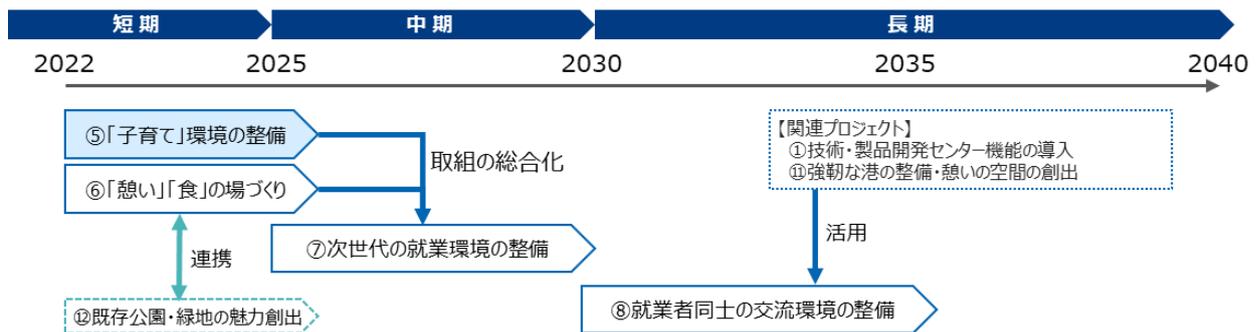
### 想定される地域

- 空港臨海部全域

### 機能構成イメージ



## プロジェクトロードマップ



関連部署

産業経済部、都市基盤整備部

【概要及び実施目的】

- 港湾・物流機能の強化、脱炭素化に配慮した港湾機能の導入に向け、AIターミナル、次世代エネルギー・再生可能エネルギーの利活用を図る。
- 東京都や周辺地域と連携し、東京ベイ eSG プロジェクトなどの実現に向けた都市づくりを目指す。
- 次世代の港湾・物流機能や次世代モビリティなどの新たな技術・製品の実証実験及び先端テクノロジーの実装を促進するとともに、安全で快適な労働環境、賑わいと憩いのある空間を創出する。

プロジェクト名称及び内容

<p>⑨</p>	<p><b>次世代の港湾・物流機能の導入</b></p> <p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾・物流機能の強化、脱炭素化に配慮した港湾機能の導入に向け、AIターミナル<sup>22</sup>、次世代エネルギー・再生可能エネルギーの利活用を図る。</li> </ul> <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和島など</li> </ul> <p>出典) 国土交通省ウェブサイト, <a href="https://www.kouiki-kansai.jp/material/files/group/15/0315dialogCNP.pdf">https://www.kouiki-kansai.jp/material/files/group/15/0315dialogCNP.pdf</a>, 2021年9月3日取得</p>
<p>⑩</p>	<p><b>先端テクノロジーの実装</b></p> <p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京都や民間企業などと連携し、次世代エネルギー・再生可能エネルギー、物流車両隊列自動走行、次世代モビリティ、小型無人機などの実証実験を行う場として、周辺道路を含めた広大な土地を活用するとともに、先端テクノロジーを実装する。</li> </ul> <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和島など</li> </ul> <p>出典) 公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構ウェブサイト, <a href="https://www.fipo.or.jp/robot/overview">https://www.fipo.or.jp/robot/overview</a>, 2021年7月7日取得</p>

<sup>22</sup> 大型コンテナ船の寄港の増加による荷役時間の長期化や、コンテナターミナルのゲート前渋滞の深刻化に対応するため、ゲート処理及びターミナル内荷役の効率化を図る取組。

## 強靱な港の整備・憩いの空間の創出

### 取組内容

- 港湾周辺の道路において無電柱化を推進するとともに、耐震強化岸壁の整備などにより、災害にも強く、安全な港湾の整備を図る。
- 港湾で働く人や訪れる人が、憩い・交流できるよう、飲食・みどり・交通結節機能を有する空間を創出する。

### 休憩・交流施設のイメージ



⑪

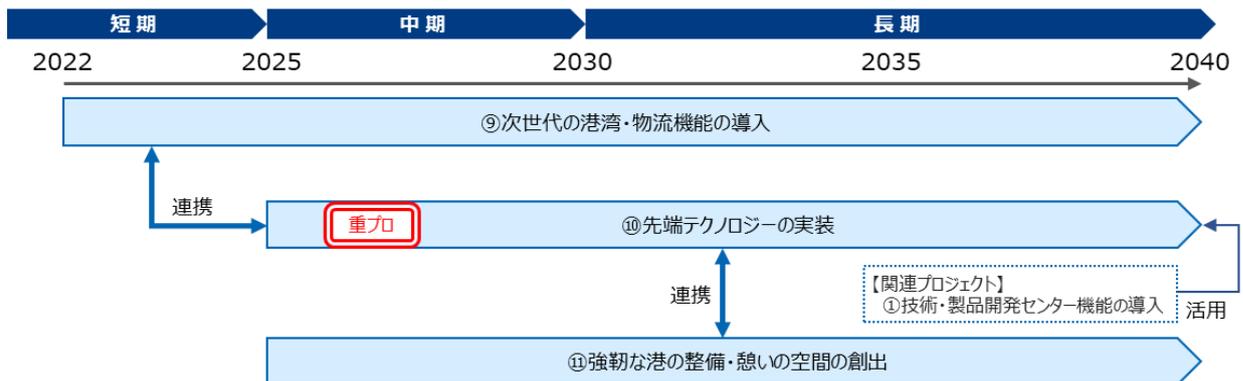
### 想定される地域

- 令和島など

出典) 東京都港湾局港湾審議会第2回長期構想検討部会「資料 4-5」  
<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/jigyō/2siryō8.pdf>  
 2021年9月3日取得

資料：「Maasvlakte Plaza」（ロッテルダム港）より東京都作成

## プロジェクトロードマップ



関連部署 産業経済部、まちづくり推進部

## 基本方針②：人の活動と自然の調和

### プロジェクトテーマ：海と緑のレジャー環境整備

基本方針②

#### 【概要及び実施目的】

- 空港臨海部の「働く場」としての魅力高めるとともに、「遊ぶ・憩う」場として魅力を高める。
- 都市部において希少な緑地・海などの自然に関連する多様な体験が出来る場として、既存の公園や海域にレジャー環境を整備することで賑わい創出に繋げる。

#### プロジェクト名称及び内容

<p>12</p>	<h4>既存公園・緑地の魅力創出</h4> <p><b>取組内容</b></p> <p>● 空港臨海部に存在する既存の公園や緑地などをより多くの人に利用してもらうため、情報発信を行うとともに、①キッチンカーの誘致などの賑わい創出に寄与する機能、②誰もが利用しやすいような環境（例：バリアフリー化、授乳室などの子育て世代のための機能）、③スポーツなどによる健康増進を図るための施設の整備により区民を中心とした利用者の増加を図る。</p> <p><b>想定される地域</b></p> <p>● 大森ふるさとの浜辺公園、平和の森公園、平和島公園、昭和島二丁目公園、ソラムナード羽田緑地など</p> <p style="text-align: right;">大森ふるさとの浜辺公園</p> 									
<p>13</p>	<h4>「賑わい」創出のための施設整備・機能強化</h4> <p style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 2px;">重プロ</p> <p><b>取組内容</b></p> <p>● パークマネジメント<sup>23</sup>など、民間活力の利用によりレストランやカフェなど、「遊ぶ・憩う」場として魅力を高めるための施設・空間を既存の公園・緑地、低未利用な公有地を活用して整備する。</p> <p>● 賑わい創出のための機能強化のため、公園に新たにレジャー活用区域を設定するなど、火気使用、キャンプなどを含めたレジャー拠点として利用できる環境を整備する。</p> <p><b>想定される地域</b></p> <p>● 大森ふるさとの浜辺公園、平和の森公園、平和島公園など</p> <p>公募設置管理制度（Park-PFI）の特徴</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>カフェ等の収益施設 (公募対象公園施設)</td> <td>広場、園路等の公共部分 (特定公園施設)</td> </tr> <tr> <td>従前</td> <td>民間資金</td> <td>公的資金</td> </tr> <tr> <td>新制度</td> <td>民間資金</td> <td>収益を充当 公的資金</td> </tr> </table> <p>出典) 国土交通省「令和2年度 PPP/PFI 推進説明会」資料  <a href="https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/001329492.pdf">https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/001329492.pdf</a>, 2021年8月13日閲覧</p>		カフェ等の収益施設 (公募対象公園施設)	広場、園路等の公共部分 (特定公園施設)	従前	民間資金	公的資金	新制度	民間資金	収益を充当 公的資金
	カフェ等の収益施設 (公募対象公園施設)	広場、園路等の公共部分 (特定公園施設)								
従前	民間資金	公的資金								
新制度	民間資金	収益を充当 公的資金								

<sup>23</sup> 官民連携手法の導入により、都市公園の管理運営の効率化と魅力向上を両立する手法や取組み。

## 水辺と水域の賑わい創出

### 取組内容

- レジャー活用水域を設定し、水上レストランなど、水辺と水域の賑わい創出のために多様な利用を行うための仕組み（管理・運営のための組織組成や、水上利用のための制度づくりなど）を作る。

### 想定される地域

- 流通センター駅・大田市場周辺、羽田インベーションシティ周辺など

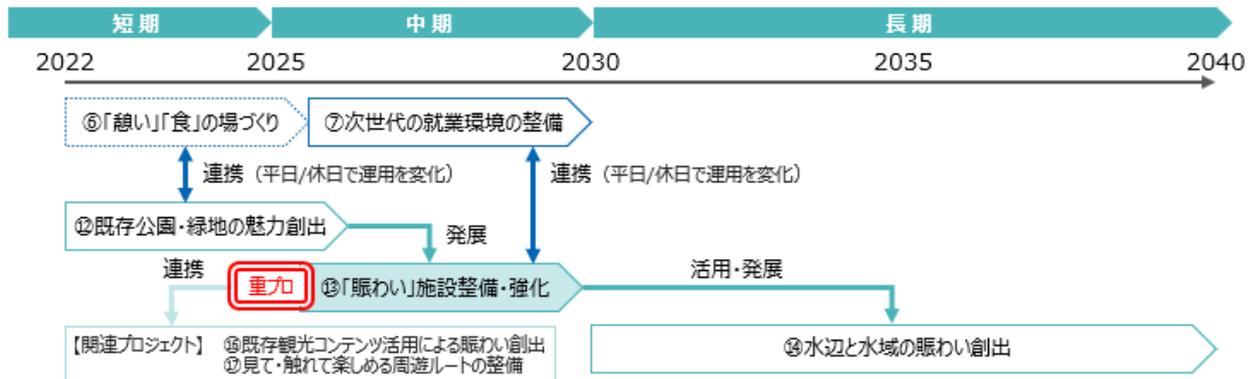
### 水辺におけるイベントの例 (川崎市「LOW MITSU PARK FES」)



出典) 国土交通省「ニューノーマルに対応した新しいまちづくりに関する調査結果」  
<https://www.mlit.go.jp/toshi/machi/content/001398792.pdf>  
 2021年4月30日閲覧

14

## プロジェクトロードマップ



関連部署

都市基盤整備部、まちづくり推進部、空港まちづくり本部

【概要及び実施目的】

- 空港臨海部の資源(大空間、工場・倉庫、大田市場周辺など)を従来の用途だけでなく多様に使いこなし、空港臨海部でしかできない観光コンテンツを創出することで、空港臨海部の認知度向上、羽田空港利用者の取込みによる賑わいを創出する。

プロジェクト名称及び内容

<p>15</p>	<p><b>工場・倉庫等の多面的活用</b></p> <p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港臨海部に存在する工場・倉庫などの民間施設の活用や音楽イベントの開催など、空港臨海部における新たな観光コンテンツを創出する。</li> <li>● 工場・倉庫だけでなく、周辺の道路空間についても時間や時期を限定した形でコンテンツの創出を図る。</li> </ul> <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京浜島、城南島など</li> </ul> <p><b>屋外ミュージックフェスの事例</b></p>  <p>鉄工島フェス (京浜島)</p>
<p>16</p>	<p><b>既存観光コンテンツ活用による賑わい創出</b></p> <p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港臨海部にある既存観光コンテンツの 프로모ーションを図ると共に、環境整備を行い、活用を促進することで賑わい創出につなげる。</li> <li>● 既存観光コンテンツを活かし、新たに創出される観光コンテンツへの誘客を図る。</li> </ul> <p><b>想定される地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大田市場周辺、羽田イノベーションシティ周辺など</li> </ul> <p><b>既存施設活用事例</b></p>  <p>横浜 ASOBUILD</p>

## 見て・触れて楽しめる周遊ルートの整備

### 取組内容

- 夜景などの景観スポットの整備や道路空間に海辺で育つ樹木を植えるなど、見て楽しめる周遊ルートを整備すると共に、観光の拠点となる施設を整備する。
- 海辺の散策路の整備や多摩川沿いの親水空間の創出など自然に触れることが出来る散策ルートを形成する。

### 想定される地域

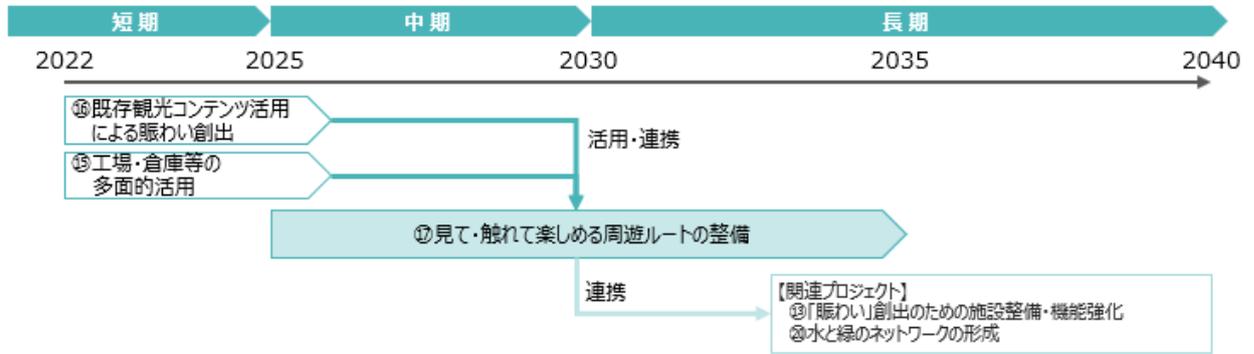
- 京浜運河、羽田イノベーションシティ周辺など

### 夜景演出の事例



⑰

## プロジェクトロードマップ



関連部署

観光・国際都市部、まちづくり推進部、空港まちづくり本部、都市基盤整備部